

米加首脳、ケベック市で会談

自由貿易の推進、酸性雨対策を協議

Peter Bregg



ケベック市の空港で握手を交わすマルルーニー首相とレーガン大統領。うしろはミラ(マルルーニー)夫人とナンシー夫人。

マルルーニー首相とレーガン大統領が、三月十七、十八の両日、ケベック・シティで会談し、貿易、酸性雨、防衛、軍縮などについて話し合ったほか、北米防空システムの近代化、太平洋沿岸におけるサケの管理など、事前に両国間で合意されたいくつかの協定に調印した。レーガン大統領が、外国を公式訪問するのは、第二期就任以来、これが初めて。

自動車や工場から排出される二酸化硫黄によって生ずる酸性雨は、カナダの森林や湖に大きな脅威となっており、その対策はこれまで米加間の懸案事項となっていたが、両首脳はカナダ側からウイリ

アム・デービス前オタワ州首相、米側からドゥリュエール・ルイス前運輸長官を任命して共通の解決案を探らせることになった。二人の任務は、酸性雨の汚染源に関する法律についての協議、研究調査の協力推進、科学情報の交換を促進する方法の研究など。

デービス、ルイス両代表は、調査の結果を、一年後、それぞれの政府に報告することになっている。

貿易障害の除去

貿易については、マルルーニー首相とレーガン大統領は保護主義の防止、障壁の解消、両国間におけるモノとサービスの貿易促進を盛り込んだ宣言を発表するとともに、ウイリアム・ブロック米通商代表とカナダのジェームズ・ケレハー国際貿易大臣に「現存する貿易障壁を解消・撤廃するあらゆる方法を探る二国間のメカニズム」の設立を準備させることになった、と述べた。

これに加えて、両国は今後一年間に、

次のような具体的な問題に対処することになった。

◎政府の調達および融資に関する自国企業並み待遇

◎モノとサービスの貿易を促進するため、諸規制の整理統合および簡素化

◎航空会社間の競争を阻害する要因解消のための、米加航空輸送協定の改正

◎エネルギー分野における規制の緩和

◎関税障壁の緩和

◎両国間の商用旅行の簡易化

◎ハイテク製品貿易における障壁の撤廃

◎偽造品取引やその他の著作権法および特許法乱用から知的財産権を保護するための協力

両首脳はまた、米加貿易の摩擦要因をいくつか解決した、と発表した。そのひとつは、昨年米国が貿易・関税法を制定し、すべての鋼管に原産国名を明記するよう義務づけたことについて、大統領はカナダに悪影響がないようにするため、法的措置をとることに同意したこと。またカナダ側は、米国の観光資料を連邦政府の売上げ税からはずす措置をとる、カナダで有線または衛星を通じて再放送される米国製テレビ番組の保護に関する米国の懸念を考慮することに同意し、米国はカナダ製特殊鋼の対米輸出をしやすくする措置をとることに同意した。

北米防空網を近代化

両首脳は、合意済みの四つの取決めに署名したが、そのひとつは有人宇宙船計

画へのカナダの参加。この計画には、日本や欧州宇宙機関(ESA)加盟諸国も加わることになっている。すでに「カナダーム」(スペースシャトルに搭載された遠隔操作ロボット)の提供など、長年宇宙開発において米国と協力してきたが、有人宇宙船計画ではサービス棟などの建設を検討している。

第二は、北米航空宇宙防衛軍(NORAD)の近代化に関する合意。これは、一九五〇年代、カナダ北方に建設された遠距離早期警戒網(DEWライン)が老朽化したため、これに代わって、アラスカからカナダ北方にかけて十三の長距離レーダー基地、三十九の短距離レーダー基地からなる北方警戒システム(NWS)を設置する、というもの。費用は六対四の割合で米国が多く負担し、カナダが運営・管理する。また、レーダーと地域作戦管理センターをつなぐ通信網、米国内におかれた超地平線後方散乱レーダー(OTH-B)による監視、空中警戒管制機(AWACS)によるレーダー監視なども、近代化された北米防空網に含まれる。

第三は太平洋サケ条約。これは、北西太平洋沿岸のサケを協力して管理・保護・増進しようというもので、年間漁獲割当て、地域や時間別の規制、ふ化したサケを他方の漁民が捕獲したときの保障などを定めている。

第四は、犯罪捜査での協力態勢を推進するための、相互司法扶助条約。ただし、公益に反すると考えられる場合は、協力を断ることもできることになっている。